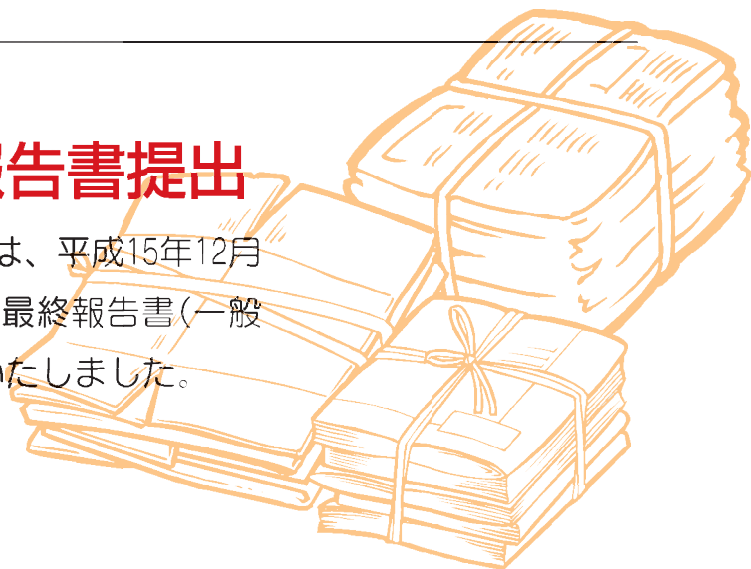


住民参加の減量化

次期ごみ処理施設に役立てる

山口公久管理者に最終報告書提出

塩谷広域行政組合ごみ処理検討委員会では、平成15年12月24日、山口公久塩谷広域行政組合管理者に最終報告書(一般廃棄物の適正処理の提言について)を提出いたしました。



ごみの減量化・資源化の推進

塩谷広域環境衛生センターに搬入されてくる「ごみ種別」調査や買い物バッグでの体験調査を基に次の内容を推進していくことといたしました。

- ・1事業所、1家庭1人1日10gのごみの減量
- ・発泡トレイ自主回収及びレジ袋の減量化等の推進
- ・生ごみ堆肥化の推進

ごみの減量化・資源化への提言

どうしても処理しなければならない「ごみ」は、処理コストや環境への負荷など総合的に判断して適正に処理することが重要です。直面する焼却「ごみ」の削減に重点をおいて、次の3項目を提言いたしました。

- ・紙類リサイクルの拡大
- ・プラスチック製容器包装リサイクルの推進
- ・生ごみリサイクルの推進



委員さんによるごみ種別調査

住民啓発への提言

循環型社会を実現するためには、物を長く使用するなどできる限り「ごみ」を発生させないで、資源として有効活用を図るなど、住民協力が必要なことから住民啓発の提言をいたしました。

- ・環境教育の充実・強化
- ・学習機会の提供
- ・ごみ処理費用のコスト意識
- ・迷惑風潮の対応
- ・各市町にごみ減量化組織の推進